

山田洋次 × 前進座…  
 待望の喜劇誕生！  
 笑って元気！ 笑って長生き！

落語「らくだ」「井戸の茶碗」より。

# 裏長屋 騒動記

山田洋次 監修・脚本 / 小野文隆 演出

前進座 五月国立劇場公演

## 2017年・全日本年金者組合合同観劇会

5月15日(月)昼の部

5月19日(金)昼の部

東京・千葉・静岡・山梨・長野・新潟・秋田・岩手・山形 | 神奈川・埼玉・群馬・栃木・茨城・福島・宮城・青森

国立劇場〈大劇場〉12時30分開演(11時30時分開場)

一等席A 7,400円 一等席B 6,400円 二等席 3,600円 三等席 2,250円

お申し込みは  
 年金者組合各本部  
 または支部役員まで

### 【国立劇場】

1966(昭和41)年開場。大劇場と小劇場を擁し、歌舞伎をはじめ文楽・日本舞踊・邦楽などの多彩な伝統芸能を、内外に発信するナショナル・シアター。

### 大劇場案内

- 全席1520席(1階904、2階350、3階266)
- 各階最後列からも意外なほど舞台が近く感じられ、2・3階席からも花道の演技が十分ご覧いただけるよう工夫された客席です
- ロビー・回廊には日本画・彫刻の名品を多数展示。広々とした空間で開演前や幕間におくつろぎいただけます。

### 【公演全日程】

2017年 5月	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月
午前の部	11:30		11:30	11:30	貸切	11:30	11:30	11:30	貸切	11:30	11:30	11:30
午後の部		16:00	貸切	貸切						16:00	16:00	

(2016年11月30日現在)

観劇料金：一等席10,100円  
 二等席4,200円  
 三等席2,600円  
 特等席12,000円(30席)  
 3月10日(金) 一般発売開始予定



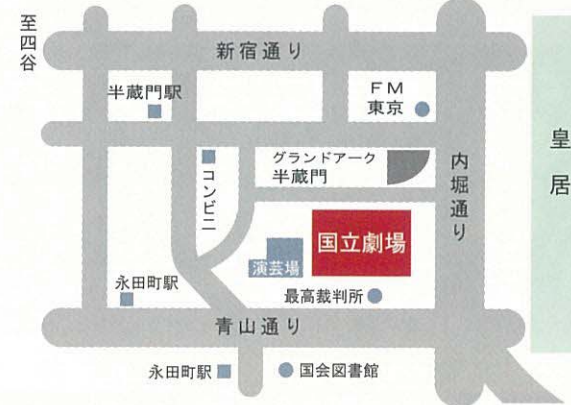
写真提供：国立劇場

### 国立劇場

東京都千代田区隼町4-1 03-3265-7411(代)

- 地下鉄：半蔵門線〈半蔵門駅〉1番出口 徒歩5分  
 有楽町線・南北線〈永田町駅〉4番出口 徒歩8分  
 バス：都03(晴海埠頭一数寄屋橋一四谷駅前) 宿75(新宿駅西口一四谷駅前一三宅坂) 三宅坂下車徒歩1分  
 タクシー：東京駅丸の内北口乗り場より10分 四谷駅より5分

駐車場完備(有料)



### 【お問い合わせ】

前進座 東京営業所

TEL. 0422-49-2811

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町3-13-2

<http://www.zenshinza.com/>

公演の最新情報は

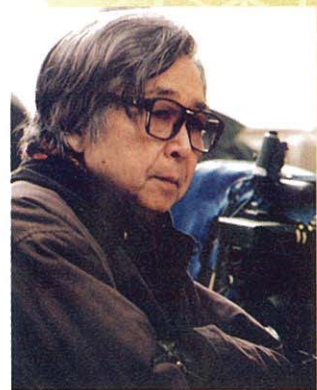
前進座

検索

# 裏長屋

## 騒動記

落語「らくだ」「井戸の茶碗」より



江戸の長屋は今日も底抜け大騒動！  
山田洋次監督と前進座による  
笑いと人情あふれる新作歌舞伎！

想い出に加わる新たなページ  
前進座と創る江戸の笑い

「僕は高校時代、山口県の田舎にいました。戦後のあの時代は山口県にも前進座の巡回公演があって、シエークスピアの『ベニスの商人』をやるんだ、うわー、観たいなー」と思ったけど、観られなかった。前進座は当時すごい人気があって、切符が手に入らなかったんです。その後、前進座が独立プロダクションとして映画『箱根風雲録』（監督 山本薩夫）を製作した時、僕は大学の映画サークルにいて、この映画を支援するために各大学の映画サークルを動員して大勢でエキストラにかけつけたものです。

僕は、本当に笑える楽しい喜劇を前進座が創造してくれるといいなあと思います。今、日本人は笑いたいんだけど、気持ちよく笑わせることが難しいことはない。それは、笑わせる方が、観客と同じような生きる辛さを共有していないといけないからです。そして、前進座にはその資格があると思うんです。」

（二〇一二年四月放送NHK教育テレビ『芸能百花繚乱』「前進座八十年の軌跡」インタビューより）

今回初めて、前進座と一緒に舞台を創ることになりました。落語の「らくだ」と「井戸の茶碗」をもとに、ある裏長屋で起こる騒動のお話です。五年前にお話しさせていたことが、このような形で実現でき、長年の前進座との想い出に新しいページが追加されることに、わくわくしています。どうぞ、ご見物の時には、舞台の俳優さんと同じ空間で、笑いや喜びを共有して、にぎやかに大声で笑いながらお楽しみください。

山田洋次  
1931年、大阪府出身。54年、助監督として松竹入社。61年「二階の他人」で監督デビュー。69年「男はつらいよ」シリーズ開始。以降も代表作多数。2002年、「たそがれ清兵衛」で日本の映画賞を総なめにし、米国アカデミー賞外国語映画部門ノミネートを果たす。近年は、「母べえ」(08)と「小さいうち」(14)がベルリン国際映画祭コンペティション部門に出品、後者で銀熊賞を受賞。『おとうと』(10)も同映画祭クロージング作品として上映され、特別功労賞にあたるベルリナーレ・カメラを受賞した。96年に紫綬褒章・朝日賞、02年に勲四等旭日小綬章、04年に文化功労者、08年より日本芸術院会員、12年に文化勲章受章、14年東京都名誉都民顕彰。15年「母と暮らせば」、16年「家族はつらいよ」が公開。17年5月「家族はつらいよ2」が公開予定。

武士のプライドと屑屋の良心  
可笑しくてちよっぴり苦い  
山田洋次ワールド全開！

江戸の裏長屋に出入りする屑屋が、浪人者の父娘に懇願されて買いつけた古い仏像を、表通りの蔵屋敷から声をかけてきた侍に求められて売ったところ、仏像の腹の中から出てきた、誰の物ともわからない五十両という大金。長屋の浪人も蔵屋敷の侍も、この金は自分のものではないから受け取れないと強情に言いはるので、屑屋は裏長屋と蔵屋敷を行ったり来たり…。

「これ以上、こんな大金持ってうろろろしてたら、どんな間違いをしようか。あたしはお侍さん方のように立派ではありません。貧しいあたしが罪をおかすのは簡単なことなのです…」と涙ぐむ屑屋には、はっとして詫げる侍…。

武士のプライドやモラルのために、貧しい江戸の庶民の良識が崩れそうになりぶつかる瞬間、互いに大真面目だからこそ哀しくも可笑しい山田洋次ワールドがあふれます。

一方では、ある日「らくだの馬」という長屋中の鼻つまみ者がフグにあたって死んでしまいます。馬を訪ねてきた兄弟分が、通りがかった屑屋に声をかけ、馬の引いにかこつけて強欲大家をとつちめるお話と、二組の若者の恋もようもからめて、裏長屋の井戸端のおかみさんたちの会話も楽しく、江戸庶民の日常と非日常が笑いの中に浮かび上がります。

落語「らくだ」と「井戸の茶碗」の  
屑屋さんが大奮闘！  
花のお江戸の廻り舞台と  
追いかけて目でまわる!!



嵐 芳三郎 河原崎國太郎 藤川 矢之輔



イラスト：瀬知エリカ

### 【前進座】

昭和六年（一九三二）に青年歌舞伎俳優らによって創立され、二〇一六年に八十五周年を迎えます。歌舞伎のほかに、本格的な文芸歴史劇、青少年向け音楽劇などを手がけ、幅広い活動で知られています。

戦前戦後に圧倒的な人気を誇る文化運動を推進。映画では『人情紙風船』『河内山宗俊』『阿部一族』など多数の名作に劇団総出演。また戦後すぐ『レ・ミゼラブル』『真夏の夜の夢』など青年劇場作品で全国津々浦々を回り演劇普及に大きな足跡を残しました。七十年代になり、『遠山の金さん』『伝七捕物帳』などのテレビドラマで、中村梅之助がお茶の間のスターに。八十年代からは、国立劇場での公演が恒例となり、歌舞伎の通し上演などで話題に。

今日においても都市の大劇場から各地小中学校の体育館まで、健やかで楽しい演劇を創造し続ける劇団です。



遠山の金さん ©NET 中村梅之助 人情紙風船

### 名作、話題作、感動作 前進座の国立劇場公演



2016年『東海道四谷怪談』 2015年『番町皿屋敷』 2015年『文七元結』 2014年『お染の七役』 2012年『鳴神』 2010年『切られお富』